

## 三波石峡

三波川の三波石峡には、古くから川によって形作られた、青みがかった巨大な石英の片岩があります。これらの岩石は、地殻変動による隆起によって露出した古代の変成帯の一部です。このタイプの岩は通常地中深くにあるため、滅多に見ることができません。

岩は主に、国の景勝地および天然記念物として指定されている 1.5km の峡谷に見られます。フォーメーションのいくつかは、その喚起的な形状のために名前を与えられています。

三波川の岩石の独特の色と形は、何世紀にもわたって伝統的な庭園の特徴として珍重されてきました。そのために広く採石されてきた石で、日本でも数少ない自然のままの状態の石が見られる場所の一つとされています。